

成羽愛宕大花火の観覧席のご案内

お一人様の座席は座布団1枚分をお願いします。できるだけ詰め合わせてお座りください。椅子の使用は禁止します。有料観覧席整理料はすべて花火大会運営費用となっています。

■無料観覧席 堤防の上、堤防の下東側、西側は無料観覧席となっています。無料観覧席の場所取りは当日をお願いします。以前に置かれた敷物は全て撤去いたしますのでご了承ください。

■有料自由観覧席

堤防の下の中心部は有料自由観覧席となっています。開場午後4時、整理料は、お一人様1,000円(保育園生以下は無料)となっています。

入場の際に券等はありません。

途中で出るときのみ、左手の甲に『特殊スタンプ』を押させてもらいます。(水洗いで落ちます)

ブルーシートのご使用はご遠慮ください。喫煙は指定の喫煙所をご利用してください。雑踏内の事故防止及び受動喫煙防止のため花火会場は全席禁煙となっています。

■トイレとゴミお持ち帰り運動(ゴミ箱はありませんので、お持ち帰りください)

仮設トイレが23箇所、文化センターの常設トイレがあります。ゴミお持ち帰り運動にご協力して、ゴミは各自でお持ち帰りください。



「備中神楽」は午後0時よりたいこまるプラザで行なっています。

成羽愛宕大花火への協賛金のご協力をお願い

成羽愛宕大花火はすべて町民のボランティアによって運営されている手造り花火大会です。公的駐車場整理料、有料観覧席整理料は、すべて花火大会運営費用となっています。

しかし、町民のボランティアだけでは、予算削減、高齢化、過疎化などで最近、運営が難しくなってきました。成羽愛宕大花火の更なる発展と維持のために協賛金のご協力をお願い申し上げます。何卒、皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

成羽愛宕大花火実行委員会 会長 東 健次

成羽愛宕大花火実行委員会事務局 備北商工会成羽支部 ☎0866-42-2412

成羽愛宕大花火流星奉行物語



岡山県の中西部に位置する自然豊かな高梁市成羽町は小さな町ですが、江戸時代より 300 年以上続く奉納花火が今でも残っています。打上花火などは花火師がしますが、それ以外は町民のボランティアによって運営されている手造り花火大会です。仕掛花火係、駐車場係、観覧席係、神事係、消防団員などすべて町民によって支えられています。

成羽愛宕大花火の特長

- ① 江戸時代より 300 年以上続く伝統があります。
- ② 成羽町民による手造り奉納花火であります。
- ③ 流星奉行に受け継がれた秘伝の仕掛花火(昔はカラクリと言った)があります。



えっ！これが花火？

300 年の伝統、成羽の名物の仕掛花火(カラクリ)です。毎年の流行を題材に 20 基以上の仕掛花火(最大 10M×10M)が河原に並びます。絵柄は毎年の楽しみです。

どうやって作るの？

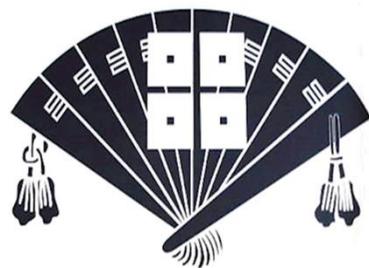
ほとんどが町民による手作りです。題材選び、図面書、下絵書、木枠作り、取付け、かたづけまで町民のボランティアによって行われます。

流星奉行って？

今から約 300 年前の江戸時代に、成羽藩主の山崎候のはからいで、年に一度家中の若者が鉄砲等の火薬の再利用で「カラクリ」などの花火を造り、愛宕神社に奉納し民衆を喜ばせていた『粋』なやつらが“流星奉行”です。今では花火に関わる人を総称して“令和の流星奉行”と言われています。

三百年の伝統 備中名物 成羽愛宕大花火

宝永元年(1704)成羽藩後期山崎二代藩主山崎義方の江戸屋敷が愛宕下にあり、尊崇していた愛宕神社を成羽の愛宕山頂に勧請し、白谷提にて花火を奉納したのが愛宕花火の始まりとされています。火薬調合の大砲方は『流星奉行』と称えられた。愛宕花火秘伝の基は「カラクリ」にあった。毎年「大カラクリ」三つ位が仕組まれ、大導火によって一瞬にして構図前面に点火する法であった。構図は専門の絵師が下絵を描き、大規模で大変華やかなものであった。その他「ホタル」・「サクラ」・「シャグマ」と呼ばれる仕掛もあったという。揚花火は尺玉ほか大小無数で、尺玉が一度空中に開くや町中真昼間の明るさを呈した。花火に集う観覧者は老若男女、遠近を問わず多数が集まった。藩主は堤に陣幕を張った座敷で観覧、家中藩士達は縄張りを設けてその内側に、その外側(川原)が一般の観覧席であったという。



山崎氏家紋

成羽愛宕大花火を始めた成羽藩主の山崎侯とはどんな殿様だったんでしょう 成羽町史より

山崎侯は織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の家来として上手く戦国時代を生き抜いてきた戦国武将でありました。『築城の名手』であり江戸城、大坂城、天草富岡城、丸亀城を構築しました。近江山崎城→三田城→若桜城→成羽藩→天草富岡城→丸亀城と順々に石高を増やしていましたが、嫡男が亡くなり、仁尾に居た分家が成羽藩に帰ってきて存続を許されました。



もっと詳しく知りたい方はQRコードでホームページへ

成羽愛宕大花火実行委員からの注意事項

会場周辺は大変混雑します。ガードマン、消防団等の誘導に従いゆっくりお歩きください。通路、坂道、橋の上では立ち止まらずにすみやかに通過してください。危険な場所には立ち入らないでください。

ルールに従わない場合、まわりのお客様のご迷惑となりますので、退場して頂く場合があります。

愛宕花火本部 0866-42-4371 警備本部 0866-42-4372

交通の攻略方法

■行き 午後6時までには成羽に着くようにしてください。国道313号からかぐら橋を渡り、元成羽高校グラウンドに止めるのがお勧めです。お帰りはかぐら街道に出ると混みません。

■お帰り 約1時間は大渋滞します。30分以上“時間差”をつけると比較的スムーズに帰ることができます。

お帰りは大渋滞します。
「時間差」をつけゆっくりでお帰り下さい。

帰り道の迂回路

- ① 国道313号を川上町方面に行き、井原廻りで帰られることをお勧めします。【迂回時間 約50分約50km】
- ② 成羽からかぐら街道に入り松岡大橋を通り国道180号を目指し高梁市に出ます。【迂回時間 約35分約26km】

くわしくはQRコードよりホームページ
をご覧ください。



成羽愛宕大花火の駐車場のご案内

午後6時から午後10時までは『総門橋』は通行止めなので『かぐら橋』へお回りください。

■公的有料駐車場

軽四と普通車の整理料が1台1000円で、成羽小学校、成羽中学校、旧成羽高等学校のグラウンドが臨時有料駐車場になっています。

駐車場で発生した盗難・事故等は、責任を負いかねます。公的駐車場整理料はすべて花火大会運営費用となっています。

道路、私有地への無断駐車はお断りします。交通ルールを守り、安全運転をお願い致します。

備中神楽(国指定重要無形民俗文化財)も同時上演中

成羽愛宕大花火実行委員会